

市民記者のページ



こうだ かずひろ
國府田 和弘 さん(森添島)

変化に対応するには、知恵、勇気と共に手を取り合える仲間が必要だと感じました。

5月末。市内で寿司店を経営する

踏み出す一歩

コロナ明けで自粛解除となった
も変化は起こる。時代の変化が速く、
不確実性の高い時代を私たちはどの
ように判断し、行動すれば良いので
しょうか。

変化の激しい時代へ クラウドファンディングに 挑戦した若手事業者たち

「最も強い者が生き残るのではな
く、最も賢い者が生き延びるのでも
ない。唯一生き残ることができるの
は、変化できる者である」経営学者
レオン・メギソン。

この言葉は、コロナ禍が変えてし
まった現在の世界を表すのではない
でしょうか。このようなパンデミッ
クの変化にとどまらず、技術革新で
も変化は起こる。時代の変化が速く、
不確実性の高い時代を私たちはどの
ように判断し、行動すれば良いので
しょうか。参加メンバー2人か
ら話を伺うことができました。



旬 和食酒房けやき
中川 善夫さん



すし大
正根寺 和人さん



カジュアルレストランZAK
堀江 俊一さん

正根寺和人さんは、志を共にする仲
間と「ちくせい元気プロジェクト」
と題したクラウドファンディング
(※)を立ち上げました。現在多く
の人たちから賛同され、成功を収め
ています。正根寺さんたちは、どの
様に現状を分析し、変化に対応した
のでしょうか。参加メンバー2人か
ら話を伺うことができました。

※クラウドファンディングとは、インターネットで自分の活動や夢を発信し、活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募る仕組みです。「ちくせい元気プロジェクト」では100店舗以上の飲食店などが参加し、総額300万円以上の支援が集まっています。

ちくせい元気プロジェクトクラウドファンディングの仕組み



クラウドファンディングで 地域経済を促進

正根寺さんは、停滞する地域経済を回し、事業者とお客さん双方に、有益性を出すにはどうするべきかを

仲間と話し合い、今後の経済促進手段として、参加店舗と支援者を繋ぐことができる、クラウドファンディングを思いついたそうです。「プロジェクトが成功するか不安でしたが、当初の目標額は達成できなかった。協力してくれたみなさんには本当に感謝しています」と正根寺さん。メンバーの中川善夫さんは「このプロジェクトを通じて、食文化や工芸などまちの再発見にもつながるとうれしい」と語り、堀江俊一さんも「食は人を幸せにし、笑顔にします。お客様の笑顔は私たちの励みになります」とプロジェクトがもたらす新たな副産物についても期待しています。

地元愛が活動力

コロナ禍の厳しい状況にありながら地元を思い、志を持って変化に柔軟に対応する若手リーダーたちは、現状把握力や分析力に長け、仲間を集め、挑戦できる実行力があります。私たちは市民として、彼らの取組みを支援すると共に、自分たち自身も「変化できる力」を備えていかなければならないと感じました。



「ちくせい元気プロジェクト」詳しくは、ホームページをご覧ください。